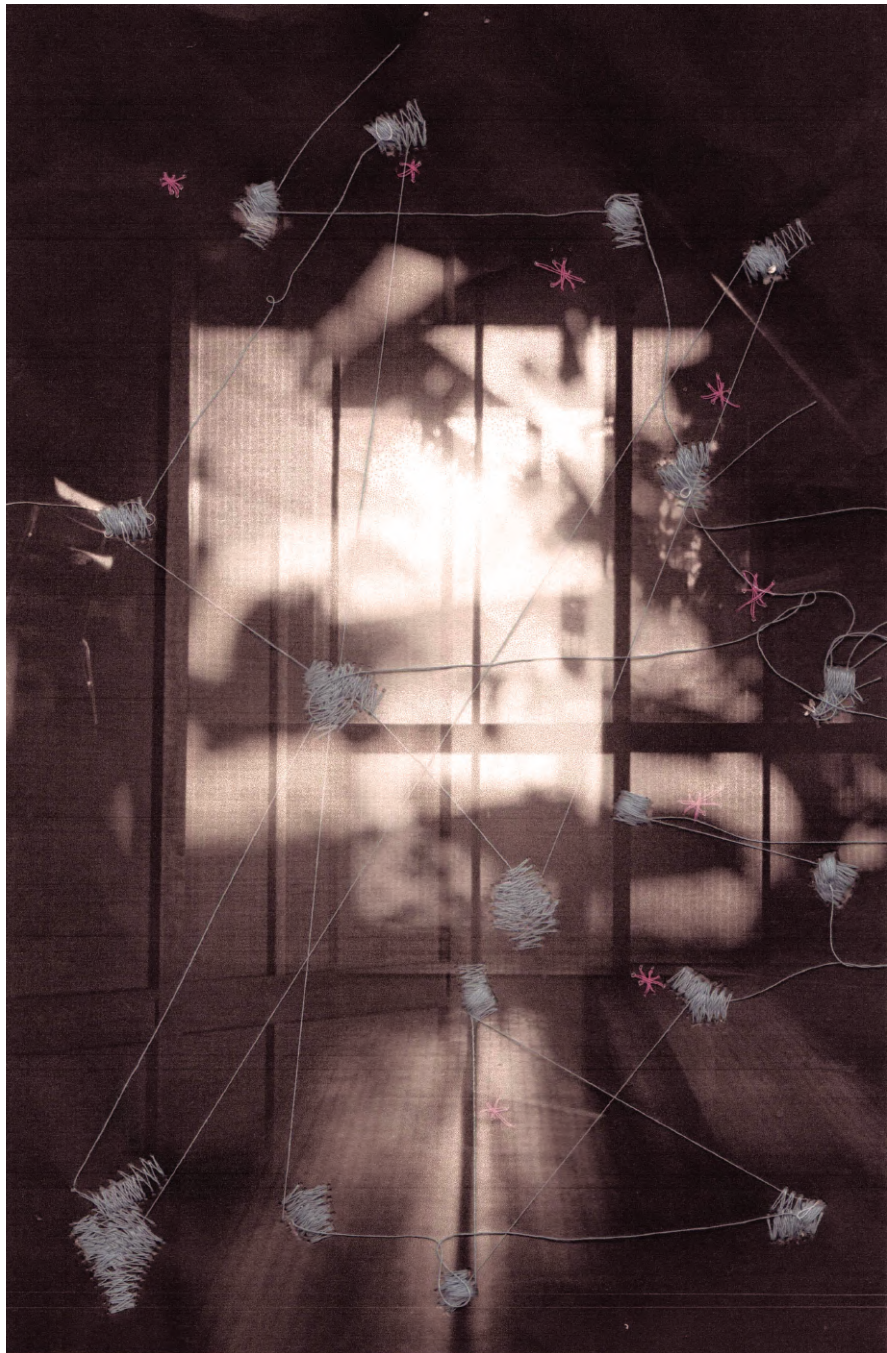


# LOST IN TRANSIT

*hosoo  
safolofa*



林崎松江海岸の家

Open House 005  
Akio Isshiki Architects  
May 17 Sun 2026

「林崎松江海岸の家」は、兵庫県明石市を拠点に活動する一色暁生建築設計事務所  
の自宅兼オフィス。築約50年の住宅を改修した、海辺の一軒家です。

本イベント「lost in transit」では、韓国を拠点に活動する環境音楽アーティスト  
sofolofo、hosooを迎え、建築と音楽を横断する試みとしてオープンハウス  
を開催します。

家の中で奏でられる音は、家全体に広がりながら空間にゆるやかに滲んでいき  
ます。訪れた方は、空間の中を自由に移動しながら、それぞれの距離や位置で  
音を感じ、建築を「見る」だけでなく、耳を通して体験していただけます。  
また当日は、この家で土曜日に営業している「カレーハウスバブルクンド」に  
よるイベント限定のワンコインカレーやドリンクもご用意しています。

## LOST IN TRANSIT

今回の公演は、海を前にした建築家・一色暁生の自邸で行われる。7時間  
にかけて、公演は舞台の上に固定されない。音は家の内と外を区別しない。  
陸と海の境界、記憶された空間とそうでない空間の間を漂流するように移動  
する。

奏でられる環境音はどこから始まり、どこが終わりかわからない。波のよう  
に、壁のように、古い匂いのように——空間に染み込んで既にそこにあっ  
たように存在する。観客もまた、立ち止まっても歩いても、留まっても立ち  
去ってもいい。決まった席も、決まった時間もない。音が届くところで  
あればどこでも公演の内である。

これは公演であると同時にひとつのデリーヴ(dérive)である。目的地なく  
動き、空間が話しかけてくる瞬間を待つこと。海に近いこの家で、音は絶  
えずどこかへ渡ろうとする。〈lost in transit〉はその静止の空間へ入って  
いく試みである。音は何も問いかけない。消去された場所に残った破片の  
数々を繋ぎながら、切迫した沈黙として存在するのみである。忘れられた  
記憶は消滅ではない。見えない軌道の間で、依然として我々を待っている  
のみである。



©大竹 央祐

## 林崎松江海岸の家

〒673-0033 兵庫県明石市林崎町3-550-8

山陽電鉄 林崎松江海岸駅より徒歩5分。

お車でお越しの際は近隣のコインパーキング  
をご利用ください。

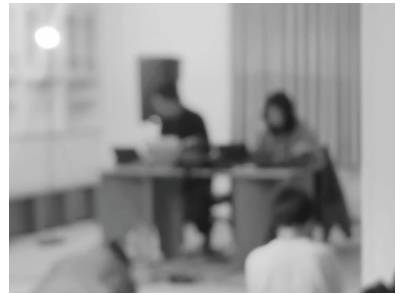
主催：一色暁生建築設計事務所

URL：https://akioishshiki.com/



## sofolofo

消えたものはたとえ歴史の中に残っていないとしても、微かに  
私たちの感覚の中に留まっているのかもしれない。消えた  
ものは完全に消え去ることはないと言う。ただ形を変えて  
私たちの内に残るだけであることを示す。ナムグン・イエ  
ウン /sofolofo は、ライブコーディング言語を通して、消え  
たものを聴覚という感覚によって再び呼び起こそうとする。



## hosoo

韓国ソウルにてベク・ホヒョンとビョン・ウンスによって  
結成されたアンビエント・実験音楽デュオ。異なる場所感  
覚を手がかりに、目的のない協演を続けている。2019年  
ロサンゼルス拠点のレーベル LINE から発表した「Mist」を  
皮切りに、ソウルの Helicopter Records とロサンゼルスの  
Dragon's Eye Recordings からアルバムを発表し、様々な場  
所で公演を行なっている。

■会場：林崎松江海岸の家

■日時：5月17日(日) 11:00-19:00

(演奏 11:30-18:30)

■出演：hosoo (Korea)、sofolofo (Korea)

■入場料：1,500円(中学生以下無料)

■カフェ営業：ワンコインカレー、ドリンク



カレーハウスバブルクンド  
イベント限定ワンコインカレー提供  
(写真は通常営業時のもの)

# May 17 Sun 2026

11:00-19:00

live: sofolofo(Korea), hosoo(Korea)

venue: House in Hayashisaki Matsue Beach

entry: ¥1,500

OPEN HOUSE 005 LOST IN TRANSIT